



教科名：

AT

2024年度

実習

一級自動車工学科

時 期：

3年

後期

科 目：

自動車整備作業

時限数：

40時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	メンテナンスのため	12/20	西浦、見谷
FY19			
FY20	メンテナンスのため	3/18	西浦、中野
FY21	メンテナンスのため	3/31	西浦、森田
FY22	メンテナンスのため	3/31	中野、合田
FY23	メンテナンスのため	3/31	西浦

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科		2024年度		授業計画	
時 期	3年後期	単元	実習	教科名	AT
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	シャシ電子制御装置 日産2級整備士テキスト（シャシAT編）		発行日
※ 注1	総時限		40時限	教科担 当	2018/12/22新規
※ 注1	授業時間		64.0時間		西浦進一 小倉保徳
※ 注2 ● ■					
※ 注2 ● ■					
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は3880.0時間（50分ベース）を確保（法定合計時間3670時間（50分ベース））					
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として電子制御ATの実務経験がある教員により故障診断方法・手順について指導する					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
1. 電子制御AT/CVTの制御を理解し、故障診断方法・手順を身につける					
2. 電子制御 A Tの不具合箇所の特定手順（T S 2 級技術要件 No. 6）を身につける					
3. 電子制御CVTの不具合箇所の特定手順（T S 2 級技術要件 No. 7）を身につける					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）					
1. AT/CVTの制御内容を理解し説明できる					
2. 電子制御式ATの不具合車両について故障診断を行い、不具合箇所を特定できる					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
実習評価点は、技術評価点（70点）+レポート評価点（15点）+取組評価点（170点以上を合格とする					
技術評価点					
・実技試験 100%					
① 不具合車両について故障診断を行う。（試験時間：25分）					
5. 準備学習					
・教科書（シャシ電子制御装置）の電子制御ATの項目を読んでおくこと					
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す					
※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者					
6. 指導目標					
1. AT/CVTの制御を理解させる					
2. AT/CVTの故障診断方法・手順を理解させる					

一級自動車工学科

2024年度

授業計画

時 期	後期	単元	実習	教科名	AT
-----	----	----	----	-----	----

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	エンジンの始動	・声掛けをし安全を確認してから始動すること		
2	シフトレバー操作	・走行時からPレンジに入れる際は、 駆動輪が確実に停止していることを 確認すること		
3	測定作業	・タイヤ回転時の測定は極力避ける やむをえない場合は巻き込みに 十分注意すること		
4	CVT分解、組立て	・CVT本体の移動は、2名以上で行う ・分解作業時は作業用グローブを着用する		

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場	座学教室
	